

# 第6学年国語科 学習指導案

河内長野市立小山田小学校

1. 日時 令和6年4月25日(木)第3時間目

2. 場所 第6学年2組(23名)

3. 単元名 「笑うから楽しい」「時計の時間と心の時間」

4. 単元目標

- (1) 原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。(知識及び技能)  
(2) ア
- (2) 文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。(知識及び技能) (1) カ
- (3) 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。(思考力,判断力,表現力等) C (1) ア
- (4) 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(思考力,判断力,表現力等) C (1) オ
- (5) 言葉が持つ良さを認識するとともに進んで読書をし、思いや考えを伝え合おうとする。  
「学びに向かう力、人間性等」

5. 本単元で取り組む言語活動

主張と事例の考えを捉え、それを使って話題に対して自分の考えを伝え合う。

6. 単元の評価基準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
原因と結果など情報と情報との関係について理解している。(2) ア	① 「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。C1 (ア) ② 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。C1 (オ)	進んで主張と事例の関係を捉えて読み、学習課題に沿って自分の考えをまとめて発表しようとしている。

7, 単元の指導と評価の計画 (全7時間)

時	学習内容/指導上の留意点	学習評価 (◎記録に残す評価○指導に生かす評価)			
		知 技	思 判 表	主 体 評価基準・評価方法等	
1 2	<p>●学習課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明的な文章の筆者の主張や意図を捉え、それに関する自分の考えを発表するという学習の見通しをもつ。</li> <li>・単元扉のリード文から教材文への関心を高め、題名読み。心の動きが体や時間とどのように関わっているかを考える。</li> </ul> <p><b>構造と内容の把握</b></p> <p>●「笑うから楽しい」を、筆者の主張と事例との関係に着目しながら読み、文章の構成を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に②③の事例をやってみる。</li> <li>・主張を見つけ赤線を引く。「はじめ」「中」「終わり」の構成、双括型。全文を拡大掲示する。</li> </ul> <p>●筆者の主張を捉えるうえで、事例を挙げることの効果を考え、内容に対する自分の考えを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例と体験とを結び付けて読む。主張からさらに自分で事例を考える。</li> </ul> <p><b>精査・解釈</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もし事例がなかったら、事例の順序が逆だったら？筆者の意図を考える。</li> <li>・筆者の主張に対してどう思うか自分の経験をふり返って考える。</li> </ul> <p><b>考えの形成・共有</b></p>	○	○	○	<p>〈行動観察・発言〉</p> <p>「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。</p> <p>【思・判・表◎】〈行動観察・ノート〉</p>

3	<p>●「時計の時間と心の時間」を読み、学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてに沿って初発の感想を書く。</li> <li>・いくつか例を挙げて、心の時間か時計の時間か考えさせる。</li> <li>・筆者の主張がどこに書かれているか赤線を引く。双括型。</li> </ul> <p><b>構造と内容の把握</b></p>	◎	◎ ①	○	
4	<p>●文章全体の構成を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例がいくつあるか考える。青線</li> <li>・事例を体験して確認しながら読む。さらに自分の経験から事例を考える。</li> </ul> <p><b>精査・解釈</b></p>				
5	<p>●主張とそれを支える事例との関係に着目して筆者の意図を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・センテンスカードを使って事例の順やあるなしから筆者の意図を考えさせる。</li> <li>・時計の時間の大切さを押さえる。</li> </ul>				
6 本 時	<p>●筆者の主張に対する自分の考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の主張に対する考えを、自分の体験や知識とを結び付けて考えをまとめる。</li> </ul> <p><b>考えの形成</b></p>				
7	<p>●考えを発表して互いに感想を伝え合い、学習を振りかえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「主張と事例」を読み、それを使って主張と事例の関係の捉え方について、理解を深める。</li> </ul>	○	○	◎	
				○	

原因と結果など情報と情報との関係について理解している。【知・技】  
〈行動観察・ノート〉

「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。【思・判・表①】  
〈行動観察・ノート〉

「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。【思・判・表①】  
〈行動観察・ノート〉

進んで事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとしている。【主】〈行動観察・ノート〉

## 8. 本時の展開

### (1) 本時の目標

筆者の主張とそれに対する自分の考えを、自分の経験を踏まえてまとめることができる。

### (2) 本時の評価規準

筆者の主張とそれに対する自分の考えを、自分の経験を踏まえてまとめている。

【思考・判断・表現】②

### (3) 本時の判断基準

【思考・判断・表現】

A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する児童への支援
筆者の主張を自分の体験と結び付けてとらえ、具体的に時間への向き合い方を考え書くことができる。	筆者の主張を自分の体験を結び付けてとらえ、事例と時間への考えを書くことができる。	主張に合った事例を選べば説得力を持つということに気付かせる。

## 8. 本時の学習過程(6/7時間)

	児童の学習内容と活動	指導上の留意点	評価規準(評価方法)
導入 5分	① 前時までの学習をふり返る。	・主張と事例について確認する。	
展開 5分	<b>めあて 自分の経験をふり返り筆者の主張に対する自分の考えを書こう。</b>		
	② 本時のめあてを確認する。		
5分	③ 書くときのポイントを確認する。	・ポイントを伝える。 1. 筆者の主張に対する自分の主張「共感」「納得」「疑問」 2. 理由(本文から) 3. 具体例(自分の経験)	
5分	④ 自分の主張につながる事例を書く。	・自分の主張とそれにつながる具体例を簡単に書くよう	

5分	⑤隣同士で交流する。	に伝える。 ・主張と事例がつながっているか確認するように伝える。	
20分	⑥意見文を書く。	・必要な児童にはヒントカードとして例文を用意する。 ・書くときの「ポイント」が書けているか確認するように伝える。	・主張とそれに合わせた事例を書き、意見文の構成を考えている。◎【思】(発言・ノート)
まとめ5分	⑦学習をふり返る。	・ふり返りの視点を伝える。	

考えの形成・書くための手だて(単元を通して)

- 筆者の事例を吟味し、自分の体験から事例を考えさせる。
- 評価（ポイント）を伝える。
- センテンスカードで整理する。
- 「時計の時間と心の時間」の主張と事例のまとめをふり返る。
- 主張赤、事例青の線
- めあてを具体的に書き、ふり返りを書く。
- 主張と事例の整合性を確かめる。

評価の基準を具体的に考える。